

# 令和8年度当初予算への要望

## 【地域要望】

令和7年8月25日

豊田市議会自民クラブ議員団



○豊田市議会自民クラブ議員団 令和8年度当初予算への要望一覧

【挙母地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	崇化館	豊田市駅東口及び西口拠点施設の整備	豊田市駅周辺は、様々な集客施設が有り、多くの人達の笑顔や楽しい会話が聞こえる。賑わいや魅力的な空間が広がる広場を含む駅東口整備は集客力、滞在時間や癒しのオアシス空間としての意義が有り、イベント、祭り等、多様な活用が生まれる事が期待される。加えて、西口でのバスターミナルやペDESTリアンデッキ等の再整備の工夫により、豊田市の独自性を生かした新たな、都市空間の創出をして、現在進行中の整備に於ける、歩行者動線はフェンスで囲まれ通勤、通学や利用する人たち、特にイベント時の歩行者の安全管理を徹底し、また景観や明るい雰囲気づくりを要望する。
2	継続	崇化館	名鉄豊田市駅舎の改修整備	豊田市駅舎は1986年に開設され、朝夕時の混雑は大変厳しく、特に各種イベント、祭りやスポーツ開催時は階段等に乗降客が溢れ、大変危険な現在である為、北改札口の新設等人的流れの安全円滑化の促進、また清潔な大きいトイレの整備、2026年アジア競技大会、2027年リニア中央新幹線の開業を見据え、駅利用者、来訪者等、利便性向上及び本市42万都市玄関口としての顔に相応する魅力的な駅舎改修整備を要望する。
3	継続	崇化館	駅前総合観光拠点施設の新設	これからの観光交流事業は多くの産業に波及効果や雇用効果等を創出する産業である。本市の観光資源は誇るべく極めて豊富であり、観光振興を通じ地域経済の活性化に寄与する。観光地・土産・イベント宿泊所斡旋・飲食店情報等を考慮すると、現ウエルカムセンターn6では手狭で有り、申し訳程度である。情報発信の限界等考えられ、新に豊田市駅前での魅力創出で観光地域や営業店等に貢献できるシステムの総合観光案内所の設置を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
4	継続	崇化館	中心市街地活気ある事業所対策	燃料費・物価・人権費高騰や消費者の行動変容・働き方改革など、事業者は厳しい時代を乗り越えて健全な経営努力をしている。懸念する個店の体力は過日のコロナ過以来、停滞しており、引き続き今後、好循環につなげる更なる取組を実施し、また、高齢化・後継者不足と重なり、空き店舗増加の懸念が有り、現在再整備の中、景観・衛生・治安低下など誘発を是正する意味でも更なる商業活性化プランなどの活用を要望する。
5	継続	崇化館	災害時での被害者及び帰宅困難者緊急避難対応	近年、異常気象や温暖化などでの大雨災害の懸念が高くなり、中心市街地は全て冠水の恐れがある。各自治区や地域部会ではマイタイムラインなど勉強し、避難訓練も行っている。また、一時避難場所を考慮する場合、被害者及び帰宅困難者等をどの様に避難するかは行政・立体駐車場・商業施設・コミュニティ始め自治区や商店街等の協定での救済が必至であり、災害に強く対応出来る組織連携を構築して、必要な整備や備蓄など対応を要望する。
6	継続	朝日丘	県道豊田東郷線 「小坂本町1丁目西」交差点から「宮上町8丁目」交差点間整備	県道豊田東郷線（都市計画東郷豊田）は幅員約10mと狭く現在大型車両のすれ違いが難しく対面車同士の事故も発生するなど車道歩道ともに通行において非常に危険な状態であり、早期都市計画の実現に向け県との具体的な調整等の推進を要望する。
7	継続	朝日丘	市道小坂三軒2号線改良の早期事業化	市道小坂三軒2号線は衣丘小学校北西角から市道三軒家八ツ迫線までの区間で挙母揚水跡地である。当地域は朝夕近隣道路から多数の通り抜け車両があり危険性が高い。小中学生の通学路の安全性確保のため早期の事業化が望まれる。幅員確保ができず市道開設が困難となった場合は自転車歩行者専用道として整備をすることを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
8	継続	朝日丘	市道樺通り線整備	小坂本町区間における市道樺通り線は従来より豊田市駅西口道路の中心的な役割を果たしているが、今後駅西口バスターミナル集中、豊田市博物館・美術館の利用増加による豊田市駅からの公共交通機関利用者に向けた安全な歩行者導線などの必要性が高まると思慮する。歩道のバリアフリー化、無電柱化など歩行者導線の整備とともに、車道も含めた樺通り全体の整備を要望する。
9	継続	朝日丘	昆森公園整備	①公園内の歩道・車道の修繕、②枝下用水周辺の安全対策及び公園未供用区域を含む樹木竹林の整備。
10	新規	朝日丘	豊田市小坂本町（文化ゾーンエリア）の防犯カメラ設置	文化ゾーンは多くの来訪者を回遊させるコンセプトを持っているが、一方で地域内は多くの一般の住居地域が含まれている。地域より不審な動きをする人が以前より増えているとの声が挙がっており、設置をアピールする防犯効果の期待も含めてゾーン内の効果的な防犯カメラの設置を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
11	継続	朝日丘	金谷町7丁目の洪水対策	豪雨が発生する度に道路が浸水するため、帰宅ができない民家や、保護者が送迎できなくなるこども園があるため。一刻も早い排水路整備を求める。
12	継続	逢妻	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	豊田南バイパス工事が8年度開通に向けて工事が進む中で、バイパスと接続する、「市道豊田西部2号線新設工事」もバイパス工事に合わせて進んでいる。みよし市三好ヶ丘より豊田市内への進入道路である市道福谷一色線は、交通量も多く幅員も狭く、小中高校生の通学路として、大変危険であるため、「市道豊田西部2号線拡幅区間」の早期完了を求める。
13	新規	逢妻	県道宮上知立線東名高速高架下の改修	宮上知立線の東名高速高架下（本新町8丁目）は豪雨の度に冠水し、通過車両に危険が及んでいる。早急な改修を求めます。合わせて、側道も舗装されておらず、浸水の危険や、荒れた路面での通学中の中学生の転倒の危険もあるので、本線と合わせて改修を求めます。
14	継続	逢妻	通学路の安全対策	当該区間は、大規模自動車工場や大型スーパーのため、終日南バイパスを横切る通過車両が多い中、大規模小中学校の通学路がある。よって、早期の通学路の安全対策を求める。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
15	継続	逢妻	南バイパス開通による通学路整備	現在、南バイパス工事が進められているが、開通により地区内の通学路が変更になったり、通過車両の量の増減が予想される。バイパス開通8年度開通に合わせた通学路の安全対策を求める。
16	継続	逢妻	東新町3丁目の排水路整備	大雨の度に、雨水が歩道に溢れ、通学の児童は池のようになった道路を登校し、付近の個人宅にも雨水が進入し、住民自ら土嚢を組み対応しているのが常態化している。一刻も早く新たな排水路ルート確保を求める。
17	継続	梅坪台	京町地区から梅坪小学校への通学路の安全確保	京町地区から梅坪小学校への通学路にあたる梅坪緑陰歩道に隣接する川東共同墓地の法面の一部について崩落の危険性があるため、通学児童や地域住民の安全確保と集中豪雨や大規模地震に対する備えのため、早期対応を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
18	継続	梅坪台	上豊田駅周辺区画整理事業の迅速で円滑な実施	上豊田駅は、第9次総合計画で重点居住誘導駅に位置付けられており、周辺では都市計画道路浄水駅北通り線・西山上挙母線・豊田北バイパスの整備が進められている。また、鉄道、おいでんバス(藤岡・豊田線、さなげ・足助線)、パークアンドライド、自転車等の交通結節点であり、早期整備が望まれている。区画整理事業の早期実施に向けた人及び予算の確保と技術的な支援を要望する。また、関連公共事業との調整が必要であり、市による事業化の検討をお願いする。
19	継続	梅坪台	籠川、伊保川の災害発生防止のための維持管理と環境整備	籠川流域(矢作川合流点から伊保川合流点)における樹木伐採、土砂堆積等の流下阻害に対応した維持管理の継続と、地域で機運が高まっている環境保全活動への支援を要望する。また、籠川緑地の豊田北バイパス南近接地の早期整備を要望する。
20	新規	梅坪台	梅坪駅周辺における集中豪雨に対応した雨水排水対策の実施	近年の気候変動等の影響で、梅坪駅周辺において短時間集中豪雨による浸水被害が発生している。豊田市総合雨水対策マスタープランに基づく雨水排水対策の早期実施を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
21	継続	梅坪台	枝下用水幹線水路耐震工事に伴う周辺整備	枝下用水幹線水路沿線は、枝下緑地の都市計画決定を受け、緑地整備が行われているが、用水や緑地の未整備区間による地域の往来が困難な区間があり、生活環境や地域コミュニティの形成に影響が生じている。耐震工事に合わせた小・中学校の通学路、災害時における避難所への経路の確保、のり面緑化等の周辺整備を要望する。
22	継続	浄水	豊田南北バイパスの早期整備と関連生活道路の整備促進	豊田南バイパスは、令和8年度に国道155号線までの暫定供用が始まるが、国道155号の改修は行われていないことから、渋滞と通過交通の生活道路への侵入が懸念されている。したがって、北バイパスや国道155号の早期整備と合わせて、関連する生活道路の整備を要望する。
23	継続	浄水	豊田北バイパス、浄水駅北通り線及び関連生活道路の整備促進	上豊田駅前区画整理事業の進捗に合わせた豊田北バイパス及び浄水駅北通り線の早期整備と、浄水駅北通り線の4車線化に伴う中央分離帯の設置による向山団地、浄水交流館、豊田高校へのアクセスを確保するための調査費の確保と対応策の早急な実施を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
24	継続	浄水	人口増加に対応した安全・安心なまちづくりに向けた地域防犯力の強化	浄水地区は、区画整理事業の進展により人口が急増しており、浄水中学校区の人口は1万5千人を超え、現在も増え続け、自転車の盗難等の軽犯罪も急増している。こうした状況の中、安心・安全なまちづくりに向けた地域防犯力の強化が求められている。交番の設置については引き続き愛知県警察への要望をお願いするとともに、自治体が運営する防災活動拠点となる安心安全ステーションの設置を要望する。
25	新規	浄水	伊保川の洪水による災害発生の防止のための維持管理と環境整備	伊保川における樹木伐採、土砂堆積等の流下阻害に対応した維持管理の継続と、地域で機運が高まっている環境保全活動への支援を要望する。また、伊保川の浄水小学校北側の親水護岸の早期整備を要望する。
26	継続	浄水	浄水駅南側広場のイベントに対応できる仕組みづくり	浄水駅南側広場は、地域主催による地域の絆を向上するイベントが毎月開催され、毎回1千人以上の集客でにぎわっている。しかしながら、現在は車両の進入ができない、電気・水道の利用ができないなどの制約があり、地域の皆さんやイベント参加者に不便をかけている。地域が賑わいあるイベントを開催するため、広場を利用しやすい仕組みづくりを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
27	継続	豊南	河合町1丁目交差点をスクランブル交差点に	河合町1丁目の交差点は、1日中車と歩行者の交通量が多く、特に子供たちの登下校の安全見守りの重点場所となっています。子供たちが集団で渡るため、右折左折の車のスムーズな通行が妨げられ渋滞を引き起こしています。この渋滞と歩行者の安全性の解消のためスクランブル交差点になるよう要望します。
28	継続	豊南	豊栄河合線に押しボタン式横断歩道の新設	現在、大勢の高齢者の方々が朝夕の散歩時に豊栄河合線を横断しています。河合池マレットゴルフ場に向かう高齢者の横断が多いです。将来交通量が増えてくることが想定され、非常に危険と危惧されます、是非押しボタン式横断歩道の設置を要望します。
29	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成し、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、また安永川改修事業を広く市民に知っていただけるよう、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。

【高橋地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
30	継続	高橋	<p>県道豊田則定線・高橋1号線交差点から高橋2丁目交差点～内・外環状線までの4車線化</p>	<p>寺部区画整理事業を終え、継続して要望課題として上げている高橋～県道豊田則定線の4車線化は高橋1号線までとなっており、その先の高橋2丁目交差点までの約210m及び内環状線～外環状線までの4車線化の計画に伴い、まちづくりの観点から寺部区画整理事業は一区切りを終え、現在では愛知県が道路用地調査にも入っているが引続き、早期4車線道路計画の目途をつけて頂くよう要望する。</p>
31	継続	高橋	<p>県道則定線と市道高橋1号線への接道へ信号機交差点設置の確定</p>	<p>県道豊田則定線は令和3年度より4車線化事業が行われており、令和5年度以降内環状線までの4車線化の事業化が予定され、令和7年度より用地取得のための調査が進められる。事業と並行して中央分離帯が設置される事で高橋自治区の住民が分断されてしまう為、市道高橋1号線と県道豊田則定線との接道へ信号機交差点の設置を強く要望する。区画整理事業を進めて行く上で平成14年から始まった住民説明会からも強く要望され、その上で区画整理事業に同意し、現在の市道高橋1号線はその為に拡幅をした経緯も有る。</p> <p>現在は暫定的な交差点となっているが、交差点設置の確定を要望。</p> <p>自民クラブ地域要望としては引続きの継続要望であり、令和2年7月27日以降八木哲也前衆議院議員・前鈴木雅博県議会議員・岩田淳市議とで愛知県警察本部・交通部長石川智之警視長へ請願書として提出済の為、その後の対応及び回答を要望。令和5年10月6日には再度、愛知県都市交通局へ3議員で出向き要望活動及び状況を確認。今年度も引き続き要望活動を実施して行く予定。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
32	新規	高橋	高橋地区こども図書室施設における老朽化に伴う修繕の対応及び建て替えを要望	こども図書室は令和7年度で30周年を迎え記念式典が行われた。こども図書室ボランティアの皆様が中心となって運営されている。旧高橋村時代の役場の跡地で運営されており、現在の建物は旧高橋公民館。現在では高橋スポーツクラブとこども図書室が建物を使用しているが築50年以上たっており老朽化の進行が進んでいる。県道則定線の拡幅工事に伴い、高橋交流館の敷地も縮小される。高橋地区ではこども達から高齢者の方々が図書室やスポーツを通じて多く集うランドマーク的な存在であるため、課題要望されている老朽化対策及び建て替えを要望する。
33	継続	高橋	鞍ヶ池公園第2期整備事業（駐車場等）及び動物園の活性化・鞍ヶ池公園周辺の地縁団体の保有する有効な土地利用活用（交通公園前）	<p>鞍ヶ池公園はリニューアルを終え、今年で60周年を迎える。豊田市を代表する公園として全国から約150万人に迫る来訪者が訪れる公園。しかし鞍ヶ池公園内に設置されている動物園には無償でも来訪者が約20万人～の状況であるため、市の保有する財産を活かすためにも動物の種類と飼育員を増やし活性化を要望する。令和5年10月29日には豊田青年会議所が鞍ヶ池公園でイベントを行い、動物園に新たな動物を招致するアンケート及び要望書が提出されている。（1位パンダ・2位トラ・3位レッサーパンダ等）</p> <p>また、鞍ヶ池公園第二期整備事業が頓挫しており、公園周辺（池田自治区・区民）の保有する土地利用を公園駐車場・ラリー等を始めとした利活用を要望する。既に池田自治区内では令和2年度より豊田東部まちづくり協議会が発足され、集団移転事業等に関して企画政策部・都市計画課へ要望を行い、地域住民との意見交換も行ってきた。池田自治区内が保有する地縁団体の土地について、市による有効利用を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
34	継続	高橋	平井小学校体育館を緊急避難場所及び避難所指定可能とする整備と関連する市道岩滝～百々線の延伸整備及び消防団詰所土地の確保	<p>平井小学校体育館は体育館北側が土砂災害警戒区域指定がされているため、緊急避難場所及び避難所指定がされておらず、災害時には体育館の使用ができない状況である。本来なら愛知県が整備を進めなければならないが愛知県の整備条件から外れているため、豊田市として整備を進め土砂災害区域指定を外し避難所指定にすることを要望する。愛知県からの回答は既に説明済。高橋区長会（15自治区）として要望書も提出済（建設部・教育部・防災対策課が同席）。</p> <p>また、土砂災害区域となっている急傾斜地は現在、市道延伸が計画されている市道岩滝～百々線の道路法面であるが、市道延伸事業の時期及び状況と延伸事業と合わせて余剰地を利用して平井町・百々町地区の消防団詰所土地の確保を要望。</p>
35	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	<p>いよいよ北側から野見児童館までの歩道が完成し、通学路が完成した。今後は、鶉の首開削事業も本格化するため、更に工事車両等が増加する事が懸念される。野見児童館から南側の用地買収の強化をし、早期に道路拡幅と歩道新設を含めた拡幅・改修の整備を要望する。</p>
36	継続	美里	東部1号線から高上東山線のバリアフリー化整備	<p>東部1号線から高上東山線の歩道は、浸水性の高い舗装の箇所があり表面の劣化が進んでいる。道路面との段差もあり、カーブが続くエリアでは、歩行者が歩行するのに転倒しやすく、危険がある。通学路にもなっており早期に道路面との段差を解消し、安全に歩行できるバリアフリー化整備を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
37	新規	美里	美里地区の白線及び安全の緑線の整備	美里地区では、小中学校が国道や主要道路沿いにあるため、通学時に交通量が多い状況にある。経年劣化もあり、白線及び安全の緑線が薄くなったり整備されていない個所もある。安全に通学するために早期整備を要望する。
38	継続	美里	第2期中央公園整備	アジア大会に向けて先行整備区域の基盤造成工事が始まった。今後は、次期整備区域の用地買収の早期に推進するとともに、公園の整備内容を議論することを要望する。
39	継続	美里	鵜の首狭窄部整備及び鵜の首橋の付替え	東海豪雨級の洪水を安全に流せるように国が矢作川整備計画を策定し整備を進めている。矢作川が狭く蛇行している為に、中流域の豊田市中心部を脅かしている「鵜の首狭窄部」の早期完成を要望する。また、鵜の首橋を相互交通できるように整備すると共に、現状の交通量の調査を要望する。
40	継続	益富	国道301号線整備（益富拡幅）に伴う関連市道の整備	2021年に事業着手し総事業費30億円の事業概要が発表され、主要道路である国道301号4車線化が推進されている。用地測量を行い、道路詳細設計も進んでいる中、早期に用地買収を要望する。また、関連市道の調査を進めるとともに、地域から提出された要望事項について推進して頂くことを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
4 1	継続	益富	志賀郷中線の交差点改良	志賀中郷線と上野大見線のT字路の交差点では、鋭角に接続しているため、事故が多発している。また、近くに古瀬間小学校があり、通学路になっている地域の生活道路だが、朝夕の交通量も増加している。交差点改良を含めて整備を要望する。
4 2	継続	益富	榎尾川の整備	泉町付近の榎尾川が、大雨によって越水し、駐車場全体が水たまりになる被害があった、今後の集中豪雨に対して川幅を広げるなどの対策を要望する。
4 3	継続	益富	浜居場住宅の建て替え整備	平成21年より入居者を止めている中で、建て替えの明確な方針が決まっていない。国道301号の四車線化に伴い歩道整備が計画されているため、今後の国の整備と共に浜居場住宅の建て替えを要望する。
4 4	継続	益富	五ヶ丘地区の遊歩道整備	五ヶ丘には生活道路を走る車との接触が極力無い様に遊歩道整備がされているが、五ヶ丘団地が完成してから35年が経過し、遊歩道に亀裂やひび割れ、根上り等が多くみられるようになった。遊歩道を歩く市民も高齢化が進んでいる地域であり、安全に散歩が出来るように遊歩道整備を要望する。（五ヶ丘公園内も含む）

## 【上郷地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
45	新規	末野原	愛知環状鉄道永覚駅へのアクセス道路整備（永覚町）	永覚駅南側及び北側道路は狭小且つ暗いため、電車利用の歩行者や自転車にとって極めて危険な道路となっている。また、駅に送迎する車両を含め、通行量も少なくないことから車両がすれ違いもできず交通支障となっている。安全で利便性の高い生活道路確保のため、駅へのアクセス道路整備を要望します。
46	継続	末野原	県道本地鴛鴦線（（都）大林柵塚線）未整備区間の事業化による歩道整備	県道本地鴛鴦線（（都）大林柵塚線）は、鴛鴦町上大岨付近において未整備区間がある。また、西側に水路が並走するこの未整備区間は、歩道の連続性が確保されておらず、安全確保が不十分な状況となっている。歩道の連続性の確保とともに、未整備区間の早期事業化について要望します。
47	継続	末野原	県道本地鴛鴦線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鴛鴦線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あり、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上・防火上そして環境的にも問題があります。特定空家等に該当するか調査をお願いするとともに、土地の管理者である愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望していただきたい。
48	新規	末野原	大林こども園 進入路の拡幅	園児の朝夕の送迎において、こども園の進入路が狭く、過去に接触事故も起きており、早急に改善する必要がある。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
49	新規	末野原	山之手こども園の幼稚園の保育園化	山之手こども園は公立の幼稚園として、4歳児・5歳児の幼児が通園している。保育需要の高い乳幼児及び3歳児へ対応ができていない。また、山之手地区はマンション建設も多く、地域住民から乳幼児及び3歳児への保育の希望が多い。
50	新規	末野原	愛知環状鉄道末野原駅のバリアフリー対策	バリアフリー化基本方針としては駅利用者3,000人/日としているが、駅ホームに行くには長い階段を利用しなければならず、特に小さなお子様連れ（ベビーカー等）や高齢者の方々にはとても不便で利用を控えざるを得ないとの意見を聞く。南部地域では唯一のパークアンドライド駐車場を駅前に配置しており、今後利用者の利便性や増進を図るためにもバリアフリー化の早急な対応を要望します。
51	継続	末野原	三河豊田駅前広場の改修	時代の経過とともに、駅前広場としての機能が低下している。そこで、地元住民による「三河豊田駅駅前広場再生協議会」が設立され、地域住民が憩え、時代に合った交通結節点機能を備えた駅前広場に全面改修することを要望する。
52	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備（鴛鴨町他）	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴨・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の計画工事の推進を図りつつ、県・市による自転車道・歩道及び交差する市道・橋梁を含めて環境にも配慮した地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望します。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
53	継続	末野原	渡刈町内の宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止の護岸拡幅等工事の実施を要望します。
54	継続	上郷	市道畝部小学校東線の整備	県道岡崎豊明線から畝部小学校（指定避難所）まで大型消防車、バス、災害支援物資輸送車等の大型車が安全に通行できるよう拡幅
55	継続	上郷	市道広美柵塚線の整備／柵塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良 ②市道広美柵塚線と市道東柵塚郷東線を結ぶ ③市道東柵塚東線を延伸し、柳川瀬公園まで結ぶ
56	新規	上郷	和会町荒古 円滑な通行の確保	県道239号線と高嶺通学線の交差点において、交差点角に用水コンクリート蓋が大きく突出しており、円滑な通行の支障となっている。コンクリート蓋を撤去し円滑な通行の確保を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
57	新規	上郷	下和会自治区 の通学路整備 安全確保のため	高嶺小学校児童が通学路として使用する釜戸橋下和会線は基本的に農道で、路肩に緑線が引かれただけで安全対策のない、すれ違いも困難なほどの細い道である。 近年、この道を抜け道として使用するドライバーが目立つようになり、児童の通学時にすぐ横を高速度で通過するため危険度が高まっている。子どもたちの安全確保のため、通行規制をかけるなどの安全対策を要望する。
58	継続	上郷	広美町中之切交差点 信号機設置 歩行者用	本交差点は広美町の中心に位置し、高嶺小学校や上郷中学校へ通う子ども達の通学路でもあるが、朝晩は交通量も多い。 地域の方々による通学時間帯の見守り活動も実施しているが、交差点の大きさの割に歩行者用の信号機が無いため、子どもが交差点横断中に信号が赤に変わってしまう事象が頻発し大変危険な状態である。令和4年以前より継続して設置を要望しており、積極的に推進を願いたい。
59	継続	上郷	三河上郷駅を中心とした街の賑わい創出	都市計画マスタープランにて三河上郷駅は「拠点地域核」の一つとして位置付けられているが、駅舎のバリアフリー化や駅前整備も進まない状況にある。地域からは、従来より駅舎へのエレベーター設置の要望の声が大きく、バリアフリー法適用のガイドライン3000人/日の利用に達していないとはいえ、約2000人/日の利用者数はエレベータ未設置駅の中では最大規模であり、三河上郷駅へのエレベーター設置を継続して要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
60	継続	上郷	柵塚西町自治区 公園の新設および駐車スペース整備	1200世帯/3200人が暮らす自治区に対し、公園がふれあい広場の一箇所しかない。子どもの遊び場や地域の人たちの憩いの場としてだけでなく、災害時や緊急時の避難場所としての機能も果たす重要な施設である、自治区の規模に相応しい規模の公園建設を要望する。また、備品や物資運搬に必要な車両駐車場の整備も併せて要望する。
61	継続	上郷	柳川瀬公園の拡充整備	①全体施設を見直し、防災機能や世代間交流など多様なニーズに対応 市全体の公園計画で南部の拠点となる公園として整備 ②体育館のかさ上げ、防災再整備 水害リスクの高い地域に応じ防災機能をもった施設として整備 ③高齢者向け入浴施設をあわせて整備（老人福祉センターと同様な施設）周辺の自然、スポーツ施設も活用しながら高齢者の健康づくりを進める
62	継続	上郷	愛環北野柵塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備 ④宅地開発（一期工事は実施済み。2期工事に向けて）
63	新規	上郷	チョイソコにこにこバスの改善	①運行日を増やす 希望する日時に乗車できない状態を解消するため、毎週火・金曜日の2日運行から、1日を増やし週3日運行にする ②予約方法の改善 インターネット予約に比べ電話による予約ができにくい状態を解消する

## 【高岡地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
64	継続	竜神	名鉄三河線竹村駅の利便性の向上と踏切の渋滞対策	現在竹村駅は、駅前のスペースも少なく、送迎の車の出入りで、その混雑はたいへん危険な状態となっている。また、駅周辺の大規模な宅地の開発計画が進む中で、駅舎全体の改修も含め、早期の乗降客の利便性の向上と安全対策を要望する。
65	継続	竜神	竹村小学校区の公共交通機関の空白地域の解消	竹村小学校区は、名鉄三河線竹村駅はあるものの、公共交通機関の空白地がある。高齢化により運転免許証を返納する高齢者が増加する中で、病院や商業施設に通う自家用車に代わる日常的な足を確保する必要がある。地域バスや、デマンド交通など多様な制度を活用した、公共交通システムの導入を要望する。
66	継続	高岡	都市計画道路の事業化と安全対策 ／ 若林西町・若林東町	若林地区内にある都市計画道路の全線早期事業化を要望する。 現在、若林駅周辺では土地区画整理事業の計画や鉄道高架事業が進められているが、土地区画整理事業予定地区内の都市計画道路はその事業の一部として、また線路より東側の都市計画道路のみが事業化されているだけで全線を事業化する予定が未だにない。 特に、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業が予定どおり進んでいる現在、想定されていたとおり周辺渋滞を避けたり、若林3号踏切に高さ制限ができたためそれらを避けたりするために通過車両が生活道路にまで進入しており、周辺には小中学校の通学路もあり交通安全上非常に危険である。 また、将来に向けて若林駅を中心とした拠点地区周辺での都市計画道路の全線整備は、南部地区の安全安心まちづくりに大きな効果をもたらすと考える。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
67	新規	高岡	若林東町上り戸（六ツ辻）交差点の改良と安全対策 / 若林東町	<p>当初、上り戸交差点は、「若林駅周辺土地区画整理事業」において事業計画地区内であったが、諸事情により事業計画地区外とし別事業で進める事とした。</p> <p>しかし、未だその計画については示されてはおらず、土地区画整理事業・三河線複線高架事業やその他周辺道路整備が進み交差点周辺の渋滞が緩和され交通の流れが良くなったとしても、元々この交差点は変則であるためさらに危険な交差点となることが予想されるため、周辺で進められている事業（区画整理・鉄道高架など）に合わせて、あるいはそれよりも早く交差点改良を要望する。</p> <p>また、現在は仮表示となっているが鉄道高架化に伴う隣接する若林3号踏切箇所の高さ制限への交差点への侵入前までの注意喚起表示の設置</p>
68	継続	高岡	若林神社前交差点改良 及び 若林花園線(土地区画整理地区外)の拡張 / 若林西町	<p>若林神社前交差点は、北西方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先の上り戸交差点の渋滞するため、また地区外の車が通行しやすい若林1号踏切を横断するために右折をする結果、渋滞や接触事故が発生している。</p> <p>現在、若園地区方面からの往来で若林花園線を使う車が増え交通量が増加しており、通行者や自転車などとの接触や若林花園線の横断がしづらい状況も発生している。</p> <p>また、名鉄三河線高架事業の着実な整備は土地区画整理事業とは関係なく、さらに若林花園線を利用する人たちの増加を誘導し若林地区内に住む住民の安全を損なう可能性があるため、早期に整備を要望する。</p>
69	継続	高岡	<p>県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線</p> <p>渋滞・安全対策 / 若林東町</p>	<p>この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。</p> <p>その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響している。</p> <p>先日もまた、県道豊田一色線沿いの県営外根住宅とメグリア若園店の間について横断禁止の周知活動を行っているが、横断する人が亡くなっている。</p> <p>早期に県と市の対応を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
70	継続	前林	名古屋岡崎線堤本町本地交差点改良の早期工事着手と歩行者用信号機の設置	<p>県道56（平針街道）と県道284（知立宮上線）が交差する堤本町本地交差点は、近くに大規模工場がありその周辺には多くの流通業務施設が立地しており、通勤時間帯には激しい渋滞が発生し終日をとおして交通量が多い。過去にも多くの事故が発生し、本市も対策が必要な個所として選定している。地域における交通の要所でもあり早期の右折レーン新設による交差点改良が求められている。令和5年度に地元説明も行われており、用地買収をすすめ交差点改良の早期工事着手を要望する。また、整備にあわせて歩行者用信号の新設を要望する。</p>
71	継続	前林	都市計画道路西岡吉原線と豊田刈谷線の事業推進と周辺生活道路の安全確保	<p>都市計画道路西岡吉原線の早期着工へ向けた事業推進。また、豊田刈谷線愛知県区間、豊田市区間における諸課題を早期に解決し、県と市で情報共有しながら事業進捗を図っていただくことを要望する。あわせて、周辺の市道整備と生活道路に対する安全対策を要望する。</p>
72	新規	前林	鴻巣池公園内のため池廃止とその後の有効活用	<p>用水として利用されていない公園内のため池を地域の意見を確認したうえで、埋め立てを軸とした整備方針を考えていただきたい。鴻巣池公園は都市計画公園の中で近隣公園の位置づけであるが、現在は公園内の一部を多目的グラウンドとして利用できていることは大変ありがたい。埋め立て後の有効活用については、都市計画公園・緑地見直しガイドラインに照らし合わせた上で、多目的広場として地域が活用できるようなあり方を検討していただくことを要望する。また、区域内のトヨタ自動車社宅と寮に挟まれた突起しているスペースは未利用で草木や雑草が繁茂している状態のため、民間事業者の意思を確認しながら利活用の有無を判断していただくことをお願いしたい。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
73	新規	前林	高岡公園拡張整備後の公園整備	高岡公園の北東に位置する、既存の前林ふれあい広場と取得済み用地をあわせた面積約1.5haの公園区域に拡張整備工事を実施していただき、令和7年度に完成する。令和8年度から利用開始することが出来るが、将来的には、休憩施設等や植栽、トイレ、駐車場など地域や公園利用者の意見を聞きながら、以前ワークショップで話し合った内容を踏まえ、魅力ある公園整備を要望する。
74	継続	前林	西の池耐震性の補強、浸食部分の解消に向けた早期事業化	西の池は本市のため池の中でも耐震面で特に状態が悪いグループに位置付けられており、地域からも平成26年より要望がだされている。隣接する土地が浸食されている状態で、下流域には多くの宅地がある。耐震性の補強と同時に浸食による民地の回復を図り、畑灌のための水源、雨水調整のための機能を考慮しつつ、地域が望む水環境整備の事業方針を示し、早期事業化して頂くことを要望する。
75	継続	若園	(都)西岡吉原線道路の整備事業	現在、名鉄高架事業に関連して中根町小沢までの道路整備が進められている。その先にある中根町地内の名鉄三河線踏切～吉原町地内(4-2工区)までの都市計画道路である西岡吉原線の道路整備に向けて、早期事業化を要望する。
76	継続	若園	若林花園線の道路整備	若園小学校から湾岸道路下までの間は、メインの通学路であり、歩道の狭い箇所が多くあるため、雨天時や夏場の暑さ対策で傘をさして通学する際に、車との接触の危険があることや、ベビーカーが通れないなど地域からの要望がある。そのため、危険な個所の道路整備を要望する

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
77	継続	若園	馬の背下細池線の整備	トヨタ車体吉原工場から、県道56号線（平針街道）までの道路には、大型トラックをはじめ、比較的交通量も多いため、拡幅整備を要望する。
78	継続	若園	西岡可鍛跡地北側道路交差点の改良	西岡可鍛跡地の住宅開発が進められている。吉原通学1号線と若林中根線の交差点（陸橋ある地点）の交通量の増加および通学路としての道路が狭いため、交差点の改良を要望する

## 【猿投地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
79	新規	猿投台	猿投台交流館新築	猿投台交流館は、建設当時から大会議室、作業室、職員休憩室など設置されていない。また、多目的ホール、駐車場は狭隘で二十歳の集いなど大規模イベントができない。年々、利用者も増加し、貸館事業にも支障をきたしている。早急に新たな交流館の建設を要望する。
80	継続	猿投台	前田公園整備推進	前田公園周辺は宅地開発も進み、人口も増加しており、市民広場条例の位置づけから都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めてほしい。現在、問題である借地を市有地とするための諸課題を解決すべきである。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。地主は寄付意向の考えもあり、前向きな対応を要望する。
81	継続	猿投台	矢作緑地平戸橋周辺整備事業	平戸橋から荒井周辺までの矢作川周辺右岸について一体性を持たせた緑地公園として整備する。猿投台地域会議では、まちづくりビジョンを策定し、地域が主体となって河川敷の整備活動を展開している。行政任せではなく、まさに共働の精神に基づいた市民活動を展開している。河川管理者は愛知県であり、事業をする上での占有許可など煩雑な事務処理も多いので市として公園の位置づけ（公園区域の拡大）をすれば、住民の皆さんの活動が容易になる。特に、平戸大橋下の空間は、現在、地域の皆さんが草刈り等を行っており、せめて広場として環境整備すべきである。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
82	継続	猿投台	名鉄越戸駅のバリアフリー対策推進	令和4年度に駅前広場、越戸停車場線が整備をされた。本来、鉄道事業者が行うべきバリアフリー対策であるが事業化進展のかけらもない。高齢社会の進行に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を市として整備すべきと要望する。過去に3000名以上の皆さんが設置要望を市長に提出している。また、昨年12月、自民クラブ議員団より鉄道駅のバリアフリー化を要望している。
83	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通	御船町の大釜地域は、大釜橋が唯一の通路となっており、万が一この大釜橋が崩落した場合は、大釜地域が、孤立します。勘八峡線の早期整備を要望します。
84	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通	猿投学校通り線の早期実現を要望します。
85	継続	井郷	豊田市運動公園内部までの交通アクセスの整備	運動公園までのアクセスとして、おいでんバスがあるが、バス停が公園の外部から500mほど離れたところにあり、利用しづらくなっている。公園内部（野球場前・体育館）にバス停を設けていただき利便性を図っていただく事を要望します。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
86	新規	井郷	旧多治見線、四郷町東畑交差点信号の右折矢印の追加	旧多治見線において、南から北に向かつての交通量が多く、四郷町東畑の交差点においては右折車両が多く並び、渋滞が発生する。渋滞解消のためにも、四郷町東畑交差点の信号に右折矢印の設置を希望します。
87	継続	井郷	布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の親水公園整備	水と緑のまちづくりのために布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望します。
88	継続	猿投	（仮）加納2号橋新設事業（市道加納1号線）	市道加納1号線は、供用開始後15年以上が経過するも、加納川に架橋されている橋は、新設されず現在に至っている。その理由は県河川の拡幅計画に合わせ事業化することであるが、いまだ河川の事業化のめどもなく、現橋梁幅員が2mと狭く危険であるため早期の事業化が必要である。
89	新規	猿投	道路舗装修繕（市道中切金山線）」	本市道は、猿投北部地域の幹線的道路であり、沿線にはトヨタ紡織猿投工場、そして旧藤岡地域と中心市街地を結ぶ道路であり、交通量も多く、大型ダンプなどにより、路面の損傷が大きく、これまでの随時修理はしていただいておりますが、凹凸箇所が多くあり、沿線の住民から騒音など苦情があります。つきましては、亀首町森腰から舞木町交差点の全面修理を要望します。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
90	継続	猿投	地域の文化財を生かしたまちづくり事業の推進	猿投神社周辺には、平成29年に旧龍性院庭園が国の文化財指定を受け、平成29年～30年で保存活用計画がまとめられた。また令和元年に山中観音堂の文化財指定、令和3年1月に山中観音堂千手観音が県文化財にされた。今後、これらの地域文化財を生かしたまちづくり事業が求められ、棒の手会館のリニューアル事業とともに第9次総合計画において整備されることを要望する。
91	継続	保見	市道事業化・早期着工・前倒し 早期整備 伊保貝津線の延伸 伊保町～保見町	現在、県道58号足助線が、朝夕の渋滞により地域住民の生活に影響が出ている状況である。伊保町にあるトヨタ紡織はじめ企業従業員の通勤や工場に出入するトラック等による渋滞が発生し、交通事故も増えている。市道整備により県道足助線の渋滞緩和と歩車分離が進み、地域住民の安全確保ができる。現在、県道加納・東保見線への接続に向けたルート（貝津町～東保見町）で、整備を検討いただいているが、当初計画であった保見町までの延伸を要望する。
92	継続	保見	都市計画道路区間の早期事業化・着工 県道豊田知立線田 ～三好ヶ丘 名古屋豊田線 田 ～亀首	地域内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。理由①国道155号線及び県道足助線の交通量の増大から慢性的渋滞があり、また子供たちを交通事故から守る為。理由②広域交流・都市間交流を支える道路である155号線が片側1車線であり、日常的に渋滞が発生している。隣接する長久手市、日進市から通勤者の車が流入している。また企業誘致の面からも交通事情が改善されなければ誘致がむづかしい状況である。市が進める経済都市の成長と安心安全な街づくりの為に早期事業化が重要である。また県道58号は尾張三河と信州方面を結ぶ伊奈街道（明治以降は飯田街道）と呼ばれ、物流の重要な道であった。豊田市は東西に走る道が少なく、慢性的に渋滞が発生する状況の為、周辺の街が発展できずに、すたれてしまった。③南北バイパスの北バイパスが令和8年に一部開通が見込まれ、保見地域への車の流入が増加すると考えられる。交通渋滞対策を考える必要があり、早期に対策を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
93	新規	保見	国道155号のバイパス構想の事業化	保見地区は慢性的に交通渋滞を起こしている地区であり、住民にとって交通の利便性を図ることが悲願である。25年前に起きた東海豪雨時には国道155号の大畑地区において、道路の崩壊があり通行止めとなり豊田と瀬戸間の通行が出来なくなった状況があった。国道155号は緊急輸送道路であり本市にとっては大変重要な道路である。早期の事業化を要望する。
94	継続	保見	保見町から伊保町にかけての緑の外環の廃止	現在、市が定める緑の外環を廃止することを要望する。保見町から伊保町にかけて、指定されている緑の外環は制定された平成30年と比べ、都市事情が変化し、現在では当初目的から外れており、廃止することが妥当と考える。市街地周辺にある都市近郊林や農地からなる環状緑地帯として位置づけられ、生物多様性の保全や都市の景観形成を維持するためとされているが、現在では都市の形成を阻んでいる状況と考える。保見地域の緑の外環は鉄道豊田新線浄水駅と愛知環状鉄道保見駅・貝津駅に挟まれた地域にあり、これから本市の都市形成において、開発を進めるべきところであると考え。市民にとって、利便性の高いところに都市開発をすることは大変有意義である。令和7年度に、計画する緑の基本計画や立地適正化計画の見直しの中で、要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
95	継続	保見	保見町から東保見町にかけての土地区画整理事業	<p>現在、本市において進める都市づくりはコンパクト&amp;ネットワークとされています。利便性の高い地域に都市開発をすることが有意義と考え、愛知環状鉄道保見駅周辺を開発することが市が定める駅周辺の開発と合致している。保見町から伊保町にかけて広がる農地は、農業振興農地のため開発をすることができない農地であります。しかしながら農業を今後も継続して行うことを希望する農家は少なく、高齢化に伴い離農する農家が増え、耕作放棄地も増加している。農業振興政策は現在では当初目的から外れており、開発を進めるべきと考える。保見町及び東保見町が合同で、土地区画整理事業を考える会を昨年度より立ち上げ、住民一丸となって進めている。保見地域は鉄道駅豊田新線浄水駅と愛知環状鉄道保見駅に挟まれた地域にあり、これから本市の都市形成において開発を進めるべきところであり、この地域を土地区画整理事業で開発することを要望する。</p>
96	新規	石野	国附自治区と小峯自治区の道路整備	<p>小峯町と国附町を結ぶ市道749小峯国附線の道路幅が狭いうえ道路上に木や竹が蔽いかぶさり風雨時の倒木があった都度住民が撤去している。自転車通学の通学路にもなっており危険なため、障がい木の撤去並びに道路拡幅の検討を行っていただくことを要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
97	継続	石野	市道東広瀬2号線 東広瀬下切地区上り坂通学路安全整備	令和5年度に下切区長より市道広瀬2号線の上り坂付近の横断歩道は子供たちの通学路にもなっているが、道路拡幅後、車の通行量も増加しており危険なため、ぴかっとわたるくん等の設置により早急にこども達の安全確保対策を要望する。またそこから県道355号線島崎豊田線の交差点横断歩道に向け急な下り坂となっており注意喚起等の標記を要望する。
98	継続	石野	東広瀬こども園駐車場整備	令和6年度下切区長より工事申請が出されておりますが、下切、石野、勘八地区で転入者の方が増え、それに伴い東広瀬こども園の入園者が増え大変喜ばしい事ではあります。こども園駐車場の出入り口が1か所しかない為、保護者の皆さんが県道355号線島崎豊田線にて待機することが多くあり特に雨の日は普段歩いて登園される方も車を利用され安全・安心の観点及び震災等の緊急時出入り口が1か所しかないため駐車場の整備拡充を要望する。
99	継続	石野	ラムサール登録湿地である上高湿地の避難所設置	ラムサール登録されている上高湿地において、湿地内では携帯電話の電波のすべてが全キャリアにおいて圏外であり、かつ上鷹見小学校の児童および上高湿地を守る会が年間15回以上湿地保全活動を行っており、近年激しくなっている突然の大雨や落雷が起こった場合に命を守るべき避難所がありません。子どもたちや保存会の方の安全・安心を踏まえ活動していく為にも、環境を考慮したうえで、早急に避難所の設置を要望する。

## 【藤岡地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
100	継続	藤岡	藤岡生活拠点（地域核）周辺の環境整備	<p>支所・交流館の合築建替えを中心とした藤岡地域核エリアの整備については、令和4年度にアクセス道路の整備を終え、一連の都市再生整備計画事業が完了したものの、それ以降の藤岡生活拠点（地域核）周辺のまちづくりや賑わいを創出するための予算および取組が見受けられない。</p> <p>飲食店など商業店舗が減少を続け、子育て世代が他地区へ移り、人口減少、高齢化が加速している現状を看過すべきではない。</p> <p>令和7年度の商業施設進出を好機と捉え、支所・交流館を拠点とした日常生活を支えるために必要な暮らし機能と居住促進地区として居住の維持・誘導によるまちづくりをこれまでの延長線上にない新しい発想とチェンジ・チャレンジ思考で早期に着手することを要望する。</p> <p>また、令和6年6月26日に藤岡地域全体の総意として要望があった支所の南部方面からの利便性向上に向けた国道419号から乗り入れる市道の新設をはじめとした道路環境等の整備の早期実現と持続可能な賑わい創出、地域資源の有効活用を要望する。</p>
101	継続	藤岡	藤岡支所周辺道路網整備	<p>藤岡北部および小原地区西部と市街地を結ぶ道路として県道北一色東広瀬線が利用され、その途中まで片側一車線整備が完了しているものの、途中から幅員が狭小となっている。</p> <p>本県道は瀬戸市から豊田市への通勤の利用も多い。</p> <p>しかし、多くの車両は国道419号を利用し、藤岡南部や豊田市街地に移動をするため、道路狭隘部分で渋滞が発生する。</p> <p>藤岡飯野町交差点の交通量調査を実施し、現状を確認するとともに、幅員の広い市道の新設または現道拡幅を要望する。</p> <p>関連市道：60111 藤岡北一色迫線 60116 藤岡飯野迫線 60327 藤岡飯野駄知線</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
102	継続	藤岡	藤岡木瀬瀬戸線道路拡幅	<p>藤岡木瀬瀬戸線は、藤岡北部と瀬戸市、藤岡東部と小原地区を結ぶ道路として、多くの人が利用をしている。</p> <p>また、藤岡地区の上水道の基幹施設である、石飛配水場も本市道を利用して送水・管理をされている。</p> <p>しかし、道路途中から狭隘となっており、一部舗装がされていない区間もある。</p> <p>道路拡幅および路面舗装を要望する。</p> <p>関連市道：60108 藤岡木瀬瀬戸線</p>
103	継続	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	<p>市道藤岡飯野広瀬線は大型車両の通行も多く、朝の通勤時には国道419号藤岡飯野交差点の渋滞回避の車両も多い道路である。</p> <p>一部では改良を進めているものの、歩道のない区間も多く残り、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。</p> <p>グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であるため、早期の改良整備を要望する。</p> <p>また区域内の飯野川に架かる昭和橋の歩道部分が新設した歩道と向かい側にあり、連続して歩道空間を歩くことができないため、歩道空間の付け替え、もしくは歩道橋の新設を要望する。</p> <p>関連市道：60110 藤岡飯野広瀬線</p>
104	継続	藤岡	御作こども園遊休地の有効利用	<p>御作こども園は令和4年度から休園し、令和7年3月31日をもって閉園となり、今後の利活用を地域と協議の上、決定していくとしている。</p> <p>御作小学校区の地域住民としては、建物を解体して地域の観光資源である「ふじの回廊」の駐車場および災害時の緊急避難場所としての活用を求めている。</p> <p>地域の声を第一にした土地の有効活用を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
105	継続	藤岡南	西中山町辻貝戸交差点改良工事	広瀬工業団地、愛知県緑化センター、昭和の森へ国道からアクセスする市道との交差点で、特に国道南から西広瀬工業団地に向かう右折車両と国道北から通学する児童・生徒の横断が交錯して渋滞が激しくなっている。 また、東側高台に新たな住宅団地が販売を開始したことから、今後更に朝夕の渋滞が予想されるので、右折車両信号の設置等早急な対策を要望する。
106	継続	藤岡南	県道北一色東広瀬線田茂平地区歩道・横断歩道設置	歩行者の安全を確保するため、早期の歩道設置を要望する。 (令和3年4月21日愛知県豊田加茂建設事務所森道路整備課長と伊藤課長補佐、三宅田茂平自治区長始め役員様、鈴木県議と現地視察をした。)
107	継続	藤岡南	深見常楽交差点県道深見亀首線(北側)歩道設置	国道419号に接続する路線(交差点)は、小・中学校の通学路としての利用をはじめ、高校生の通学やバス停へのアクセスなど、地域に幅広く利用されており、歩道の設置が早急に必要な交差点である。 猿投神社方向の道路の片側(団地側)は児童が通学路として通行するもののポストコーンのみの設置となっている。安全向上が図られているものの、強度は無く防護柵としての役割はない。小中学校の通学路でもあるのでガードレールもしくはガードパイプの設置を要望する。
108	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期整備	国道419号西中山地内の渋滞緩和のため、早期整備を要望する。令和元年8月24日国道419号4車線化整備促進期成同盟会を設立(4月26日総会において次期事業化個所は東海自動車道豊田藤岡インター西のロータリーから現道419号までと決定した。今後、本庁に要望)

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
109	新規	藤岡南	藤岡南交流館新築	現在の藤岡南交流館は老朽化が進み、地域の人口も増加する中、館の面積も狭く、新設を希望します。
110	継続	藤岡南	西中山町崩ヶ崎浸水対策の対応工事	豪雨が発生すると、住宅地内の道路が一部浸水するため、早期の工事を要望する。

【小原地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
111	継続	小原	市道築平川下・小原大草足助線 ／築平・川下・李・鍛冶屋敷・ 小原町	国道419号と県道豊田明智線（小原、足助・旭地区を結ぶ）は、重要市道であるとともに、観光拠点である四季桜の里と香嵐溪などを結ぶ観光バス路線としての重要性が高い。大型観光バスの通行と一般車両が安全に対面通行できるように視距改良・道路拡幅改良を引き続き要望する。また現在進められている市道築平川下線に引続き、市道小原足助線の改良計画・調査に着手し、切れ目のない施工の継続と早期の道路改良の完了をお願いしたい。
112	継続	小原	和紙のふるさとの敷地を造成し、文化・観光・地域の拠点を つくる／永太郎町	和紙のふるさととは愛知県所有の土地を豊田市に無償貸与されている。愛知県の承諾を得て国道419号に隣接する保安林部分の敷地を切土造成し、仮称「おばら里の駅」として和紙工芸品や小原の特産品の販売、ラリー客の受け入れが出来る施設を建設して賑わいの創出と和紙工芸や小原歌舞伎などの伝統文化の活性化と継承を推進する。また、地域の子供からお年寄りが集える「総合学習スペース」の建設によって地域の拠点を整備し、安心して安全な子どもの居場所づくりと高齢者などの活躍の場の創設することによって、魅力ある地域づくりを確立し、定住促進に繋げる施設整備を要望する。尚、この要望の財源は地域振興基金の活用を希望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
113	継続	小原	市場城跡の調査の推進と石垣の修復と観光地としての整備／市場町	市場城跡は、昨年から発掘調査を本格的に開始している。調査には主に地元住民の協力によって行われているが、予算の確保などにより人員を確保し調査を迅速に進め、調査結果に基づいた復元や石垣の修復並びに観光地としての本格的整備を要望する。特に石垣は修復しないと崩壊の恐れもあり、安全の確保も必要になってくる。
114	継続	小原	川見四季桜の里 回遊路・橋梁整備／川見・雑敷・上仁木町	川見四季桜の里については、愛知県が河川敷の整備等積極的に支援して頂いている。そこで本市においても田代川の兩岸の回遊歩道を整備し最上流箇所現存する橋の架け替えと上仁木駐車場から柿ヶ入（左岸側）に渡ることができる人道橋の架設によって四季桜まつりの時期により多くの出店を可能にして、川見四季桜公園を持続的観光地として総合的に整備することを要望する。尚、河川管理者である愛知県は、川見四季桜公園の整備に全面的に協力して頂ける確約が取れている。
115	継続	小原	旧老人憩いの家跡地の市有財産を活用した宅地整備／永太郎町	旧老人憩いの家（永太郎町）跡地の市有財産が更地のまま放置されている。当地は国道419号沿線であり路線バスの停留所も近く、宅地として低廉な価格で分譲することによって、若者の移住定住を促進するには好立地である。用地内に民有地等の存在などの懸案を出来る限り早く解決して、宅地として分譲販売を早期に希望する。

## 【足助地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
116	継続	足助	香嵐溪100年プロジェクトの推進	香嵐溪飯盛山のモミジは、生育環境の悪化や樹勢の衰えがあり、景観の質の維持、向上を図る整備を推進すること。あわせて、通年の観光地化、市民に愛される場を目指し、将来にわたり景勝地として継承されるための仕組みづくりを地域とともに構築すると共に、香嵐溪園地の老朽設備の早期更新、新たな魅力を創出する施設整備を行うこと。
117	継続	足助	伝統的建造物の保存・活用と足助まちづくりビジョンの推進	この地区の中心エリアは重要伝統的建造物群保存地区に選定され、その修理等には補助金が受けられるなどのメリットがある一方、修理等は厳しい基準に従わなければならない、事実上は除却も許されないなど大変な制約を受けている。このような中、空き家や必要な修理がされない家が増加している。修理等補助金枠の増額や地域団体等が実施する事業等への支援をすること。また、市が所有する伝統的建造物の整備を行い、保存・活用を積極的に推進し、このエリアを地域の核として再生し、持続可能な地域への転換を図ること。
118	継続	足助	足助支所の建替えを含めた公共施設の早期見直し	足助支所は施設の老朽化が進み、災害時における拠点施設としては不安な状況であり、早期に建替え計画の再検討・実行に着手すること。なお、計画にあたっては、単なる支所の建替えではなく、今後の人口減少や超高齢社会を踏まえ、複合地域核としての足助地区、山村地域、豊田市全域といった視点からの支所機能のあり方を見出す必要がある。また、観光まちづくりのための公共施設（百年草、三州足助屋敷、足助町並み活性化施設など）を多く有しており、これらの施設も老朽化が進み、利用者の減少も著しいが、足助にとっての存在意義は重く、必要な改修等により早期再生を行い、利用を促進すること。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
119	継続	足助	山村地域を守る交通システム整備事業	急激な人口減少や後期高齢者の増加、バスの乗務員不足が続く山村地域に適応した持続可能な交通システムの確立を要望する。地域の生活に欠かせない移動手段を、多様な手段で確保することで、高齢者等交通弱者の自立した生活の支援と積極的な社会参加に繋げ、山村地域で暮らすあらゆる人が住み慣れた地域で快適に暮らし続けられる社会を実現すること。
120	新規	足助	山間地域の住宅確保と定住の促進	山間地域内の市営住宅は多くの利用希望があり、ほぼ満室の状況である。しかし、老朽化の上、土砂法の規制により一部募集が停止されることで、総戸数が減少している。地区外への人口流出を防ぐため、新たな市営住宅の整備や地区内住み替えを可能にする宅地供給を実施すること。また、伝建エリアでは除却・空き家が増加するとともに、人口が減少している。伝建エリアへの定住移住も促進するため、中期的な居住体験ができる「おためし住宅」の整備を進めること。
121	継続	足助	特色ある子育て環境構築の推進	少子化は全市の共通課題であるが、この地区は特に小規模小学校が多く、小学校の統廃合はこども園、放課後児童クラブ、親のつながり、スクールバス運行など地域の子育て環境に大きく影響するものである。そのため小規模校の在り方について統廃合ありきでなく、地域の声も良く聞き、子どもにとってあるべき魅力ある教育環境を早期に実現すること。

【下山地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
122	継続	下山	市道、下山大官屋敷・石坂線の 拡幅／大沼町	県道作手善夫大沼線において、大沼の街中の道路が狭隘であるが、幹線道路であり交通量が多い。道路の拡幅や歩道整備もできない道路事情から交通事故への危険度も高い。そこで、街中を避けて迂回する必要性があり、市道市下山大官屋敷・石坂線の拡幅はすれ違いも、ままならない状況から生活道としても危険であり道幅の拡幅等の対策が必要であるため車両、歩行者の安全確保の両面から必要であるため、道路の拡幅を要望する。
123	継続	下山	三河湖周辺の観光整備/羽布町	三河湖周辺は、下山地区の観光の核となっている。WRCのSS会場にもなっており、世界に向けた放映も予定されているなど、注目を集める事が期待される。今後、アクティビティを中心とした観光に力を入れていく計画であり、携帯電話の繋がらない場所もある事などからWi-Fi環境などネット環境整備や拠点となる園地の水道設備など、三河湖を中心とした観光地としての整備を要望する。
124	継続	下山	地域バスの地域間の移動	現在、下山地区には総合病院に行く交通手段に乏しく、高齢者に足助病院や厚生病院、記念病院に乗り継ぎ無しに行くのが困難な状況であるため、地域バスでの足助病院にいける様に要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
125	継続	下山	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴う宅地整備	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴い3500人の従業員が働く事になる。地域の人口減少に歯止めをかけるために、従業員を下山地区に呼び込む住宅整備の実現に向けて宅地を確保出来る様にし、関係団体や事業者に働きかける事を要望する。
126	継続	下山	通学困難者の定義の緩和と対応	現在の通学困難者の定義では、山村地域の实情にあっておらず、距離は、定義に達していない物の高低差が多い事や、歩道もなく危険な状況、なおかつ集団下校もできず、保護者が送迎しなければならない現状もあり、地域の实情に合わせて現場を把握している校長や支所などに権限を持たせてスクールバスなど实情に合った運用ができやすい様にして行く事を要望する。

【旭地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
127	継続	旭	県道豊田明智線小渡交差点改良工事	小渡町は、旭地区の地域核として公共機関・経済機能が集約された地域であり、地域を縦断する県道豊田明智線は、地域住民や通過車両にとっての主要道路として利用されている。中でも小渡交差点は、道路幅が狭くボルトネック形状となっており、歩道幅も狭いため、往来する車両と歩行者との距離が近い。現在、ダムの残土運搬による大型車両の往来が増加している。今後、浅谷トンネルの開通による交通量の増加も懸念されるため、早急な対応が必要である。
128	継続	旭	笹戸温泉の再活性化	愛知県最古の笹戸温泉は、以前5店舗以上あった宿泊施設は現在では0店舗となり飲食店が1店舗と衰退化が進んでいる。2026年に開催が予定されているアジア競技大会のカヌー競技開催候補地となっていることから、旭地区の玄関口である笹戸地域の再活性化の取り組みがなされることを要望する。また近年は他の温泉地などで、廃業施設等への不法侵入や不審火が発生していることもあり地域の安全づくりは喫緊の課題であると考えます。
129	継続	旭	観光における旭高原元気村の拠点化の推進	今年も世界ラリー選手権が開催される。地域経済を活性化させるため、観光業等の振興を図る必要がある。旭高原元気村は、観光拠点施設として認知されているが、施設が老朽化して利用者が減少傾向にある。キャンプ施設の一部改修など利用者増加の取組も行われているが、元気村施設全体の老朽化は進行しており、施設の再整備も含め、観光資源の活用による更なる活性化を図ることを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
130	新規	旭	旭地区の商工会の再活性化	<p>少子高齢化、後継者不足などが要因で小渡地区の商工会会員は、20年前は63名から現在は42名となっている。地区全体では162名から117名と会員の少ない状況で、現在、地域行事や町の活性化活動を継続しているが、このままでは活動の継続が厳しい状況となっています。地域活性化を維持するためにも、空き店舗の利用者の誘致など地域の再活性化としての支援が必要であると考えます。</p>
131	継続	旭	定住対策の促進	<p>旭地区の過疎化対策として、市営住宅を山村活性化住宅として活用しやすくしたことは、一定の効果があったと認識している。地域で空き家バンクの発掘が困難な状況にある中で、定住対策を進めて行くためにも、土砂災害特別警戒区域の指定に基づき使用制限されている杉本住宅4戸の活用に向けた調査の実施、若しくは、それに代わる施設の整備を要望する。併せて、笹戸住宅の外壁塗装を含めた早期修繕を要望する。あわせて、新たな山村活性化住宅の建設を要望する。</p>

## 【稲武地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
132	継続	稲武	「どんぐりの里いなぶ」から「大井平公園」までの遊歩道整備	地域課題解決事業により武節城址の整備は進んでいる。 しかし、城山城址から名倉川への連絡道路が不十分で、さらに大井平公園までの名倉川左岸の遊歩道が老朽化しているとともに右岸は川沿いに遊歩道が整備されておらず竹藪等に覆われ景観を損ねている。 まずは、左岸の再整備と右岸の整備を行うことにより道の駅から武節城址、大井平公園から旧稲武商工会館までの魅力的な川沿いの周遊路による一体感が創設される。このため、武節城址から名倉川左岸への連絡路、左岸の再整備、右岸の整備を含めたさらなる景観整備を要望する。
133	新規	稲武	黒田川の浚渫	黒田川、宮前橋から真弓ダム間において長年土砂が堆積し、真弓ダムにおいては堤防上部まで届くほどとなっている。真弓ダム近辺は、黒田川と名倉川の合流地点にあたり近年の豪雨時には濁流となって越水しそうな状況ともなっている。東海豪雨時には越水し右岸側の事業所に大きな被害を与えたこともあった。 そのような状況の解消のために宮前橋から真弓ダム間の浚渫を要望する。
134	新規	稲武	安心して子供を預けられる環境づくり	以前の稲武地域は、三世帯同居などこどもの見守り環境も家庭内で事足りていたが現在では移住した核家族も増え、小学生の放課後の預かりの需要が高まっている。特に学校での長期休暇中の見守りの需要は大きいため、地域の実情に合わせた見守りの実現を要望する。
135	継続	稲武	稲武地区における学習環境の確保	少子化が進む中、適正な学校規模の調査・研究が進められているが、稲武地区ではすでに、小学校1校、中学校1校という学習環境である。当然、これ以上の他地区との統合は通学距離・時間など負担増になるため、考えにくい。児童生徒にとってより良い学習環境を確保していくため、小中一貫校や現在取り組んでいる中学校の部活動の地域移行における課題とも併せて、調査・研究をすすめ、児童生徒並びに地域住民の声を踏まえた取組を要望する。